

森から世界を変えるプラットフォーム  
「森林減少・劣化に繋がらない農業を目指す動きと今後の展望」セミナー

# 導入プレゼンテーション

JICA地球環境部森林・自然環境グループ  
山中 潤

# 大規模農業による森林減少・劣化の現状

- 世界の森林面積は1990-2020年の30年間で1億7800万ha（日本の国土面積の約5倍）が減少（FAO2020：[Global Forest Resources Assessment 2020 \(fao.org\)](https://www.fao.org/global-forest-resources-assessment-2020)）。
- 農業は森林減少・劣化の大きな要因の一つ（[Visualizing the Five Drivers of Forest Loss \(visualcapitalist.com\)](https://visualcapitalist.com/visualizing-the-five-drivers-of-forest-loss/)）。

There are two types of forest loss:



## 5.8Mha Permanent deforestation

Complete removal of trees or conversion of forest to another land use, where forests cannot regrow.



## 15.2Mha Forest degradation

A reduction in the density of trees in the area, but without a change in land use. Forests are expected to regrow.

= 21 million hectares (Mha)  
Total annual forest loss (2001-2015)  
To put this into perspective, that's roughly five times the area of the Netherlands.

### 1 5.7 Mha Commodity-driven deforestation

Forest loss from farming, raising livestock, mining or energy infrastructure.

75%  
Driven by  
agriculture



### 3 5.4 Mha Forestry products

Periodical logging of managed and planted forests for products such as timber, paper and pulp.



### 4 5.0 Mha Shifting agriculture

Small-scale clearance for farming that is later abandoned and replaced with new regrowth.



### 5 4.8 Mha Wildfires

Although these can be destructive, forests can regrow if the land is left unused.



### 2 0.1 Mha Urbanization

The permanent conversion of forests to towns, cities, and infrastructure.

Source: Philip Curtis et. al (2018) via Our World in Data  
Figures have been rounded

# 地球規模の森林破壊を引き起こす農産品生産

コーヒー



畜産



ゴム



大豆



カカオ



木材



パームオイル



Hiroto Mitsugi

# 前回セミナー「森林の減少・劣化の現状と農業セクターの取組から学ぶ対策」（2022年10月11日）の振り返り

- 森林減少・劣化に繋がらない農業の取組として：
  - 持続可能なコーヒー栽培（森のコーヒー、シェード農法、生産性向上）
  - 持続可能なオイルパーム産業の構築（アブラヤシ古木の活用）
  - 持続可能な農牧林業統合システム（ILPF）
- 取組の拡大のためには：
  - 農家に対するサポート（生産性向上やマーケットとのマッチング等）
  - イノベーション・技術
  - 民間セクターの進出（認証制度、ブランディング等）

## 3. パネルディスカッション（ファシリテーター：三次啓都氏）

- 中平尚己氏（UCC上島珈琲株式会社 農業調査室室長）
- 松本由利子氏（コンサベーション・インターナショナル・ジャパン シニアプログラムコーディネーター）
- 小杉昭彦氏（国際農林水産業研究センター生物資源・利用領域 プロジェクトリーダー）
- 坂口幸太氏（JICA中南米部 中米・カリブ課課長）

## 取組の一つ：欧州連合（EU）のデュー・ディリジェンス義務化規則

- 2022年12月にEUでデュー・ディリジェンス義務化規則が合意された。
- **大豆、パーム油、牛肉、木材、カカオ、コーヒー**のコモディティをEU市場に出荷する事業者は、当該コモディティの生産・流通が合法かつ森林減少・劣化に繋がっていないことを確認するデュー・ディリジェンスを行う必要がある（カットオフデイトは2020年12月31日）。
- 違反した事業者には、EUでの年間総売上高の少なくとも4%の罰金が科される。
- 今後、規則案の正式な採択、適用が進められる。

### 世界的な動き

- アメリカやイギリスでも類似の動きがあり、世界全体として、「**ビジネスと環境**」、「**ビジネスと人権**」は今後、重要なポイントになっていく。
- 政府による木材の輸入規制から、企業にデュー・ディリジェンスの実施を求める動き。

# デュー・ディリジェンス義務化規則に注目する理由

## インパクトの 大きさ

ビジネスサイドでの  
動き

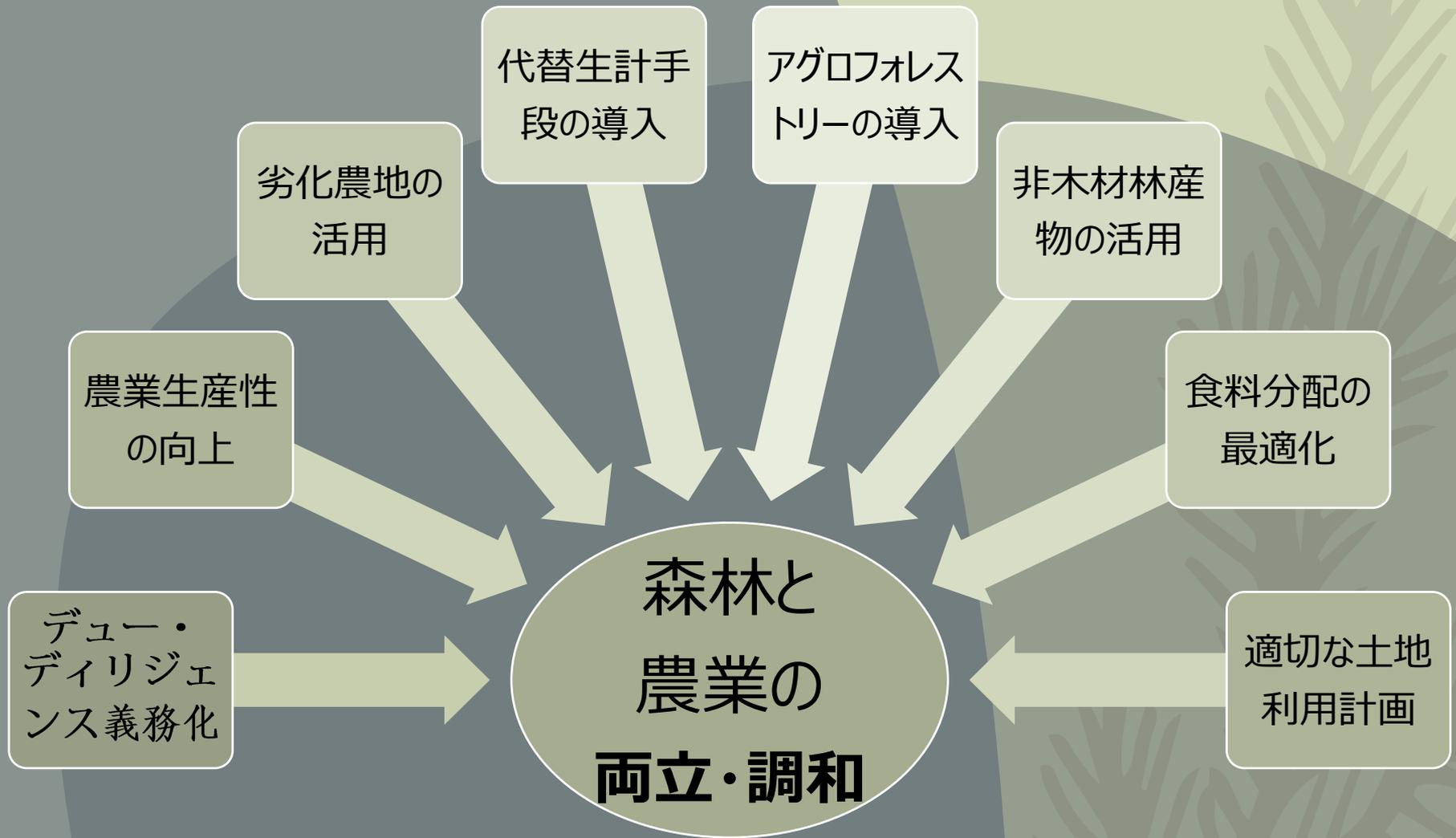
EUのみならず、日本  
含めて国際的に展  
開する可能性

木材のみならず、  
森林に関連するコモ  
ディティが対象

農業 = 多くの途上  
国の主要産業

生産のみならずサブ  
ライチェーン全体へ  
影響

# 土地利用における森林と農業の両立・調和に向けて



# 森から世界を変えるプラットフォーム

- 「森から世界を変えるREDD+プラットフォーム」(2014-2020)での取組を発展的に継続するもので、2021年に設立。
- SDGsの達成に向け、途上国における森林保全・再生、および持続可能な森林管理を支援する多様なステークホルダー間の取り組みを推進するためのプラットフォーム。
- 会員数は約300名。
- 主な活動：
  - (1) イベントの開催  
森から世界を変えるプラットフォーム主催あるいは他の団体との共催によるイベントの実施。
  - (2) メールによるイベント情報提供や会員様の取組紹介  
会員向けの森林・自然環境保全分野の関連イベント情報メールの送信。会員様の取組紹介。
  - (3) 定例会・分科会  
定例会の開催、特定の地域・課題を取組の対象とした分科会の設置（要望あれば）。

**森から世界を変えるプラットフォームへの会員登録をぜひご検討ください！**  
(登録無料、年間費無料です。)

詳細はインターネット検索、またはQRコードから⇒  
お問い合わせ：[forest\\_platform@jica.go.jp](mailto:forest_platform@jica.go.jp)





ありがとうございました

森から世界を変えるプラットフォーム